

平成28年度 当初予算

東近江市の創生 将来を見据えた予算に



東近江市長 小椋正清

■施政方針

住みたくなる・住み続けたい・魅力ある東近江市をめざして

平成28年度は、本市の10年後、20年後に向けて布石を打つ重要な1年になるの思いを強く持っています。人口減少を抑制し、いきいきとした東近江市を創生するため、一般会計予算は516億円とする積極予算としました。

本年度の重点的な施策の内容は、本市の知名度アップを図るため、観光施策を強力に推進するとともに、八日市駅前を中心とした

中心市街地活性化基本計画の策定などを進め、地域のにぎわいと交流人口の増加に向けた取り組みを進めてまいります。

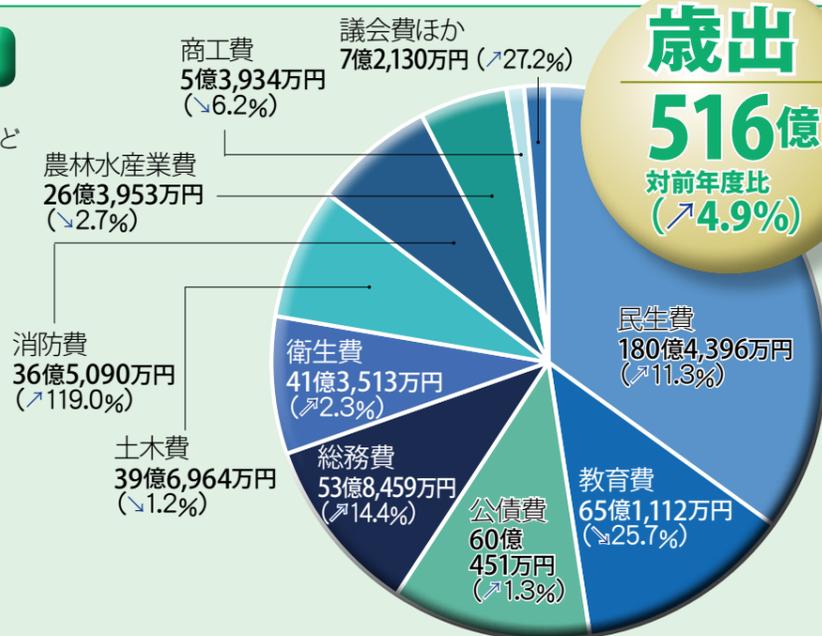
また、人口減少対策として、転入者の住居取得、多世代同居のための新築や改修、空家バンクを活用した住宅の改修費に対する補助制度の新設など、定住移住を推進します。

加えて、子育てしやすいまちづくりを進めるため、第3子以降の保育料の無償化および半額化、一歳未満児のいる家庭へのおむつ等支給事業、さらに幼児施設等の整備などを積極的に進め、子育て世代の負担軽減、待機児童解消などに努めてまいります。

今後も、市民の皆さんの声に耳を傾けながら、市政運営に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

歳出 516億円

対前年度比
(↑4.9%)

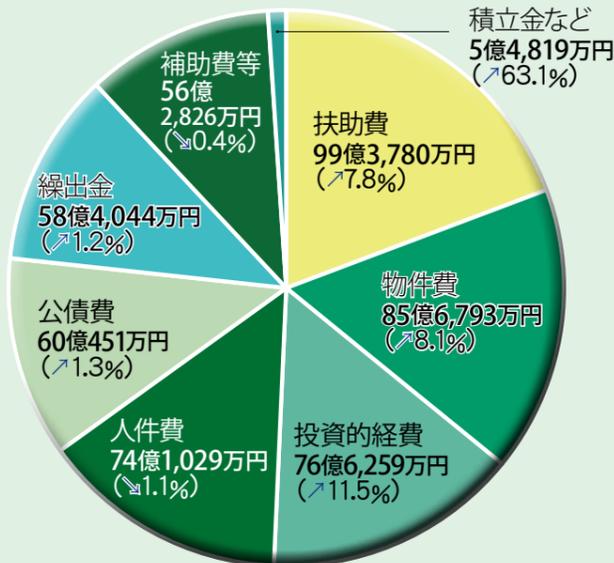


性質別グラフ

- 扶助費
児童手当や障害者・高齢者の支援、生活保護など
- 物件費
公共施設の維持管理など
- 投資的経費
公共事業など、将来への投資
- 人件費
市職員の給料、議員報酬、各種委員報酬など
- 公債費
市の借金の返済
- 繰出金
特別会計・企業会計への繰出金など
- 補助費等
消防やごみなど、広域で事業を行う組合への負担金など

目的別グラフ

- 民生費
児童や高齢者、障害者福祉の充実など
- 教育費
学校や社会教育、施設整備など
- 公債費
市の借金の返済
- 総務費
市民活動や防犯、交通対策など
- 衛生費
健診やごみ処理など
- 土木費
道路や河川、公園の整備など
- 消防費
消防や救急活動など
- 農林水産業費
農業や林業、水産業の振興など
- 商工費
商工業や観光の振興など



会計別予算額

総合計
831億6,185万円(↑4.0%)

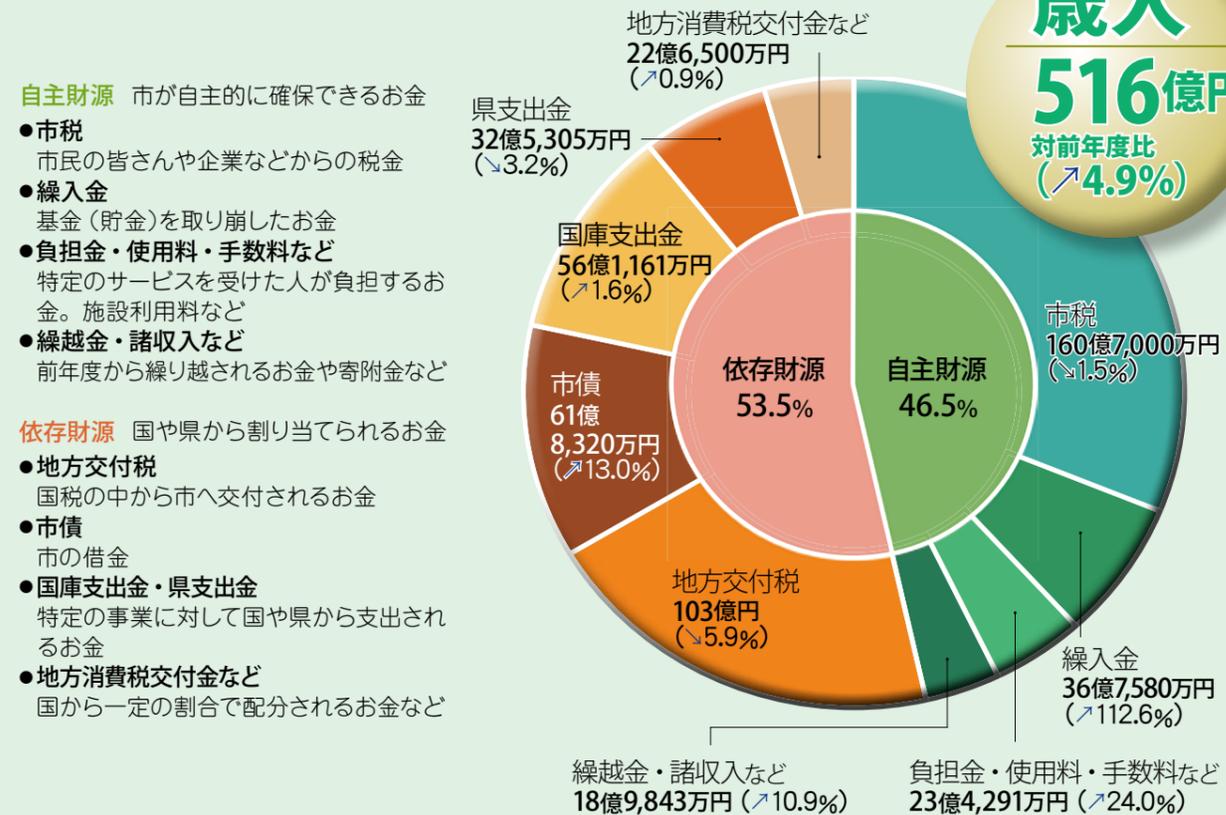
- 一般会計
まちづくりや福祉、教育など、市の全般的な事業を行う会計
- 特別会計
保険料など特定の収入で事業を行う会計
- 企業会計
事業収入により経営する会計。独立採算を基本としている。

会計	平成28年度当初予算額	対前年度比
一般会計	516億円	4.9%
特別会計		
国民健康保険(事業勘定)	127億2,700万円	3.1%
国民健康保険(施設勘定)	11億4,100万円	5.7%
後期高齢者医療	10億2,200万円	0.2%
介護保険	83億6,800万円	3.2%
簡易水道事業	—	水道事業に統合
下水道事業	36億700万円	1.7%
農業集落排水事業	14億100万円	△0.1%
公設地方卸売市場	4,670万円	△1.3%
小計	283億1,270万円	1.8%
企業会計		
水道事業	29億2,893万円	13.0%
病院事業	3億2,022万円	△7.4%
小計	32億4,915万円	10.6%
合計	831億6,185万円	4.0%

※△はマイナスを表します。

歳入 516億円

対前年度比
(↑4.9%)



※市の予算をわかりやすくするために四捨五入し、万円単位で表示しています。このため、合計額などにおいて合致しない部分があります。 ※円グラフの()内の%は、対前年度比です。

次世代への基盤づくり

いきいきとした東近江市の創生をめざし、4つの重点施策を柱として市政を運営します。また、その中で「定住移住」、「結婚から子育てまでの切れ目のない支援」と「中心市街地の活性化や観光事業」に注力します。

図財政課 ☎0748-24-5602 ㊟050-5801-5602

働き住み続けたいまち

- 企業誘致 7,328万円
新たな企業の進出や既存企業の規模拡大、市民の新規雇用などに対して支援します。
- 若い力 MIRAI 特産振興 950万円
特産品や新商品の開発、直売所の活性化など、本市の農業の将来を見据えた事業を行います。

■中心市街地活性化 1億2,216万円

人が集う魅力ある市街地の創出に向けた調査や計画策定などを行います。



- 愛知川水源林保全活動 822万円
放置林の拡大防止、奥山での間伐の搬出支援、作業道整備により、森林環境の整備を行います。

行きたくなる住みたくなるまち

- ふるさと寄附制度 寄附受け付け目標額2億円
寄附者へのお礼の特産品を充実させ、地域経済の活性化や来訪者の増加、本市のPRにつなげます。
- なりわいPR販売促進 285万円
本市のモノづくりの認知度を高めるため、市外の百貨店で体験型のワークショップやセミナーを開催します。

- 外国人観光客受け入れ環境づくり 122万円
観光モニターツアーの開催や、観光施設の公衆無線LAN (Wi-Fi) を提供します。

- 日本遺産を核とした地域資源活用 224万円
「五個荘金堂」や「伊庭の水辺」に観光客をスムーズに誘導するため、観光看板の設置や観光案内アプリの運用を開始します。

若い世代が希望をかなえるまち

- 認定こども園・幼稚園施設整備 18億3,600万円
主な整備箇所
(仮称) 平田・市辺幼稚園新築工事、(仮称) 五個荘東幼稚園整備工事、(仮称) 五個荘北幼稚園改修工事、(仮称) 愛東幼稚園新築工事



(仮称) 五個荘東幼稚園完成予想図

- 病児保育室の開設 605万円
病気にかかった子どもを預けることができる病児保育室を愛東地区に開設し、能登川地区への開設準備を進めます。

- 民間保育所等での延長保育事業・一時預かり事業の支援 1,130万円
補助を拡充し、子どもを預けやすい環境を整えます。

- 学校施設整備 5億6,066万円
主な整備箇所
玉緒小学校体育館・プール改築工事
御園小学校校舎増築工事
※平成27年度補正予算に前倒し — 6億9,294万円
湖東第二小学校校舎・体育館大規模改修工事
朝桜中学校校舎大規模改修工事

誰もが安心して暮らせるまち

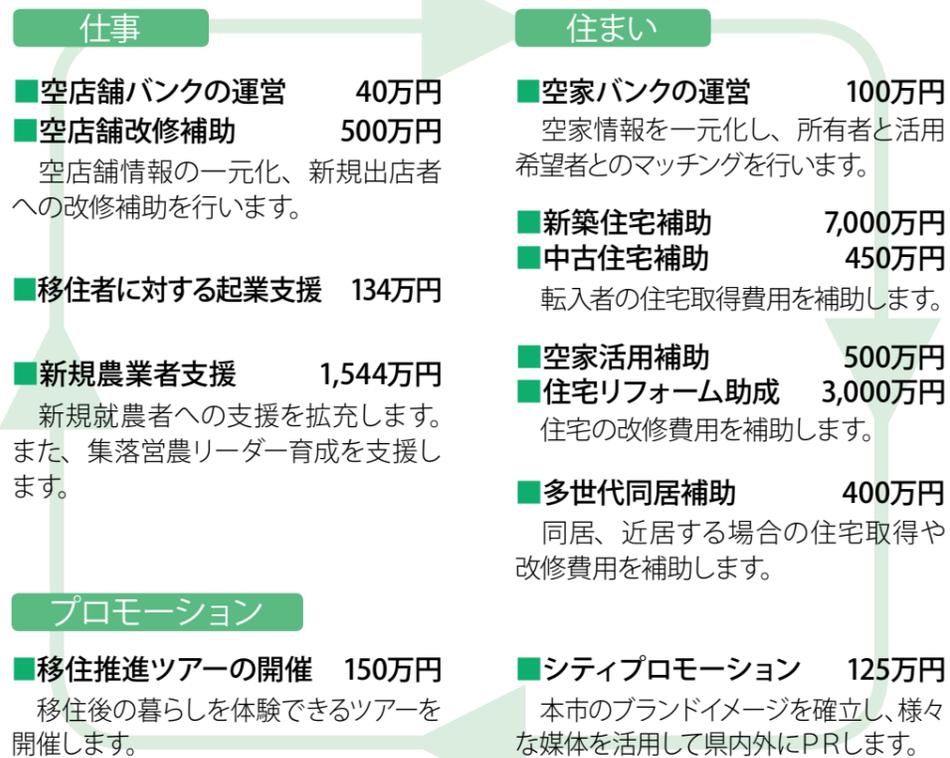
- 道路の整備 13億4,104万円

- 防災情報告知放送システム整備 20億3,100万円
いざというときの防災緊急情報を市内全域の各戸に迅速に伝えるための告知放送システムを整備します。

pick up 1

定住移住

本市で暮らす人が満足して住み続けられるよう、サポートを強化し、加えて、移住施策を推進します。



pick up 2

結婚から子育て

結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行います。



昨年度実施会場の様子



つどいの広場で触れ合う栗田健成さんと文香さん親子(沖野四丁目)

本市に移住されたぶどう・いちご農家の漆崎厚史さん、益子さん夫妻(百済寺本町)